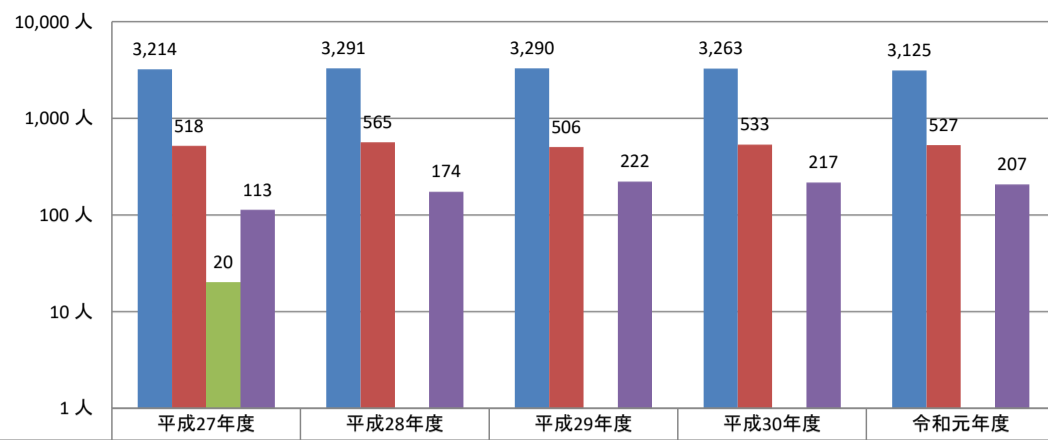


新入院患者数推移



年度	急性期病床	地域包括病床	療養(医療・介護)	回リハ
平成27年度	3,214	518	20	113
平成28年度	3,291	565		174
平成29年度	3,290	506		222
平成30年度	3,263	533		217
令和元年度	3,125	527		207

【定義・計算式】

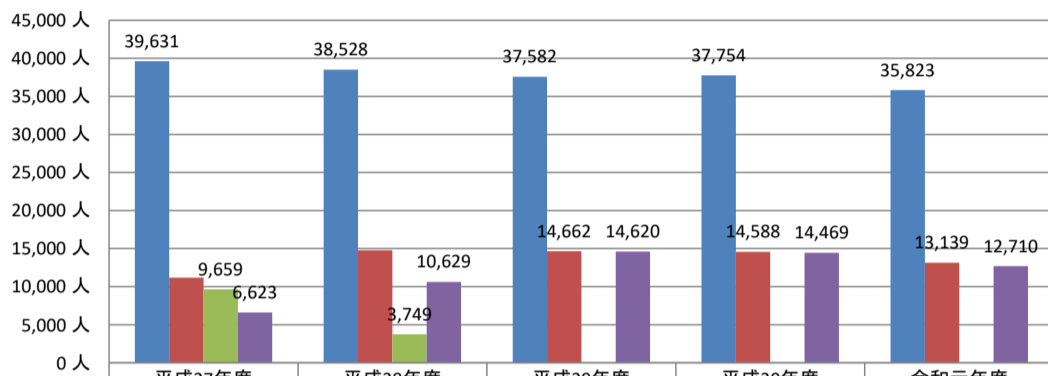
各病床(一般・地域包括・療養・回復期リハビリテーション)へ入院した患者数

【この指標のコメント】

当院に入院した患者数についての指標です。大田医療圏の基幹病院であり、急性期から回復期まで幅広く医療を提供できるように努めています。

平成26年度より地域包括病床開始
平成27年度より回復期リハ病棟開始

在院患者延べ数



年度	急性期病床	地域包括病床	療養(医療・介護)	回リハ
平成27年度	39,631	11,177	9,659	6,623
平成28年度	38,528	14,793	3,749	10,629
平成29年度	37,582	14,662		14,620
平成30年度	37,754	14,588		14,469
令和元年度	35,823	13,139		12,710

【定義・計算式】

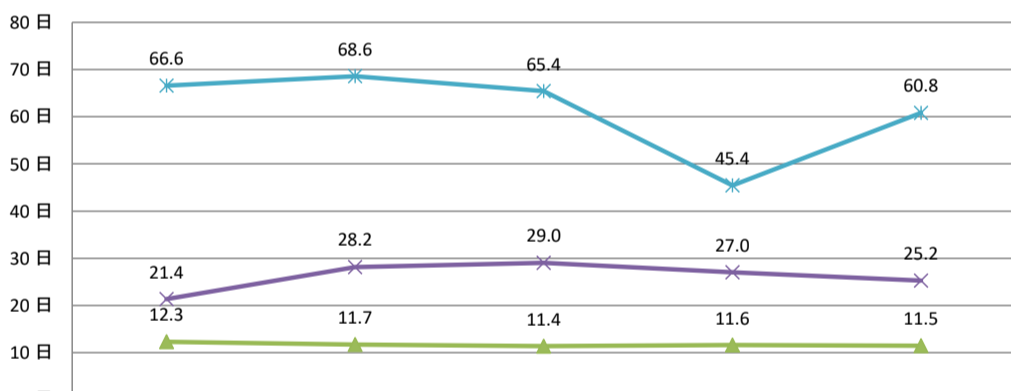
各病床(一般・地域包括・療養・回復期リハビリテーション)へ入院した患者延数

【この指標のコメント】

当院に入院した患者数についての指標です。大田医療圏の基幹病院であり急性期病床へ入院する総患者数は、この5年間でほぼ変化はありませんが平成26年度より地域包括ケア病床を創設。平成27年度より回復期リハ病棟を創設しました。また、翌年には回復期リハ病棟の増床を行い在宅へ復帰を支援しております。

平成26年度より地域包括病床開始
平成27年度より回復期リハ病棟開始

平均在院日数



年度	急性期病床	地域包括病床	回リハ
平成27年度	12.3	21.4	66.6
平成28年度	11.7	28.2	68.6
平成29年度	11.4	29.0	65.4
平成30年度	11.6	27.0	45.4
令和元年度	11.5	25.2	60.8

【定義・計算式】

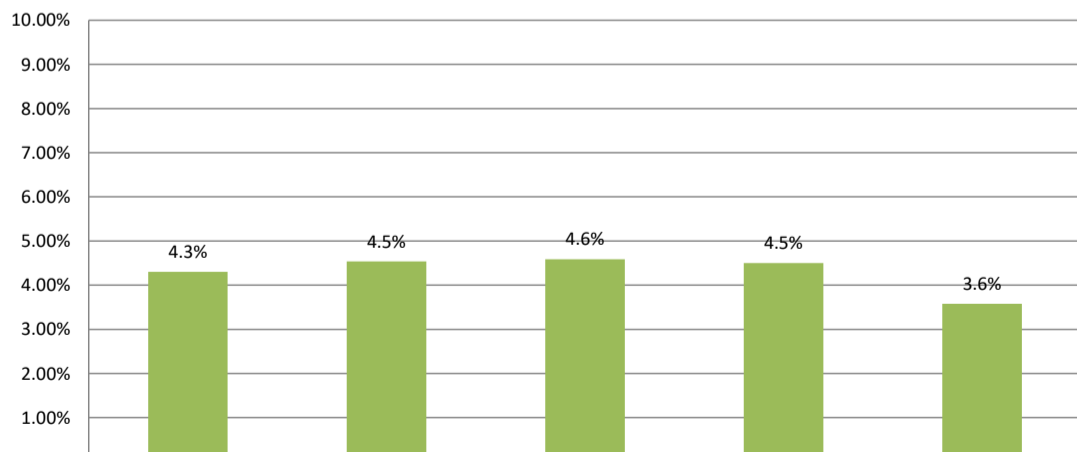
在院患者延べ数 ÷ ((新入院患者数+退院患者数) ÷ 2)

【この指標のコメント】

急性期病床の一人あたりの入院日数の平均値です。平成28年度よりDPC(入院医療費包括制度)を導入し急性期病床の平均在院日数はほぼ変化なく推移しています。回復期リハ病棟は、整形外科領域の術後患者の利用増加により在院日数が短くなりました。

平成26年度より地域包括病床開始
平成27年度より回復期リハ病棟開始

死亡率



年度	急性期病床
平成27年度	4.3%
平成28年度	4.5%
平成29年度	4.6%
平成30年度	4.5%
令和元年度	3.6%

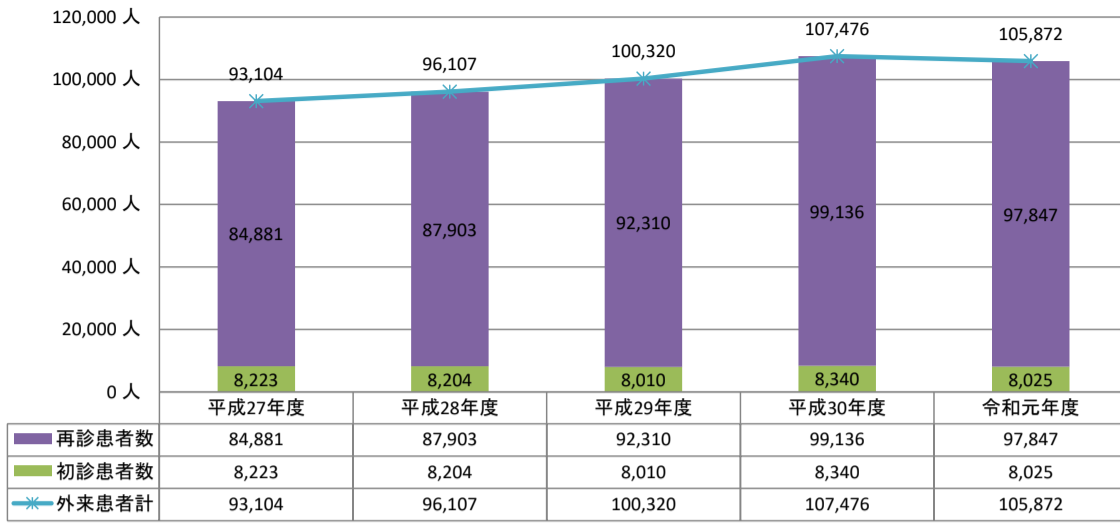
【定義・計算式】

死亡退院患者数 ÷ 退院患者数

【この指標のコメント】

退院患者の中で死亡退院の占める割合です。施設の特徴(救命救急センター、集中治療室の有無や病床数)や患者傾向(年齢、疾病、重症度)は医療機関によって異なるため、死亡退院率が高い=悪い病院ということではありません。当院の年推移や同規模施設との比較で評価するようにしています。

外来患者数推移



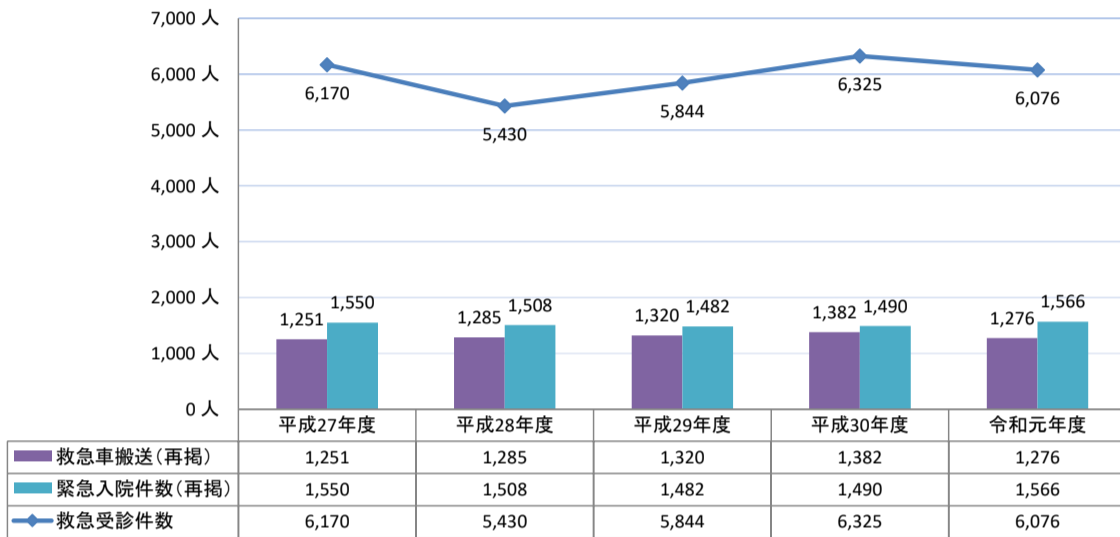
【定義・計算式】

当院へ受診された患者数。

【この指標のコメント】

当院に受診された患者数の指標です。近隣の医療施設との連携を図りながら医療の提供を行っております。

救急外来患者数



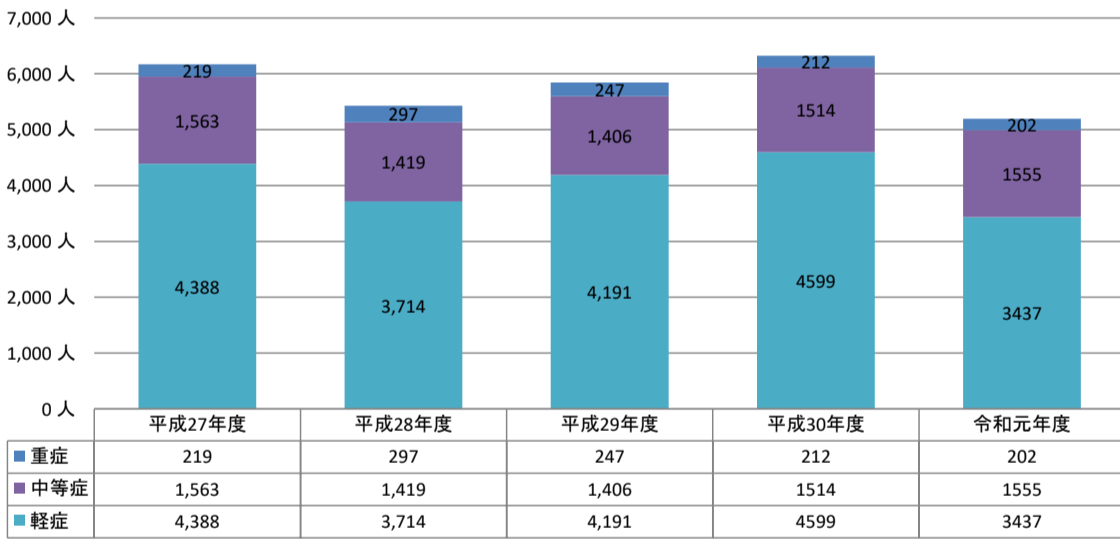
【定義・計算式】

救急外来へ受診された患者数。またその内、救急車で来院された患者数と救急外来からそのまま入院となった患者数

【この指標のコメント】

救急医療体制についての指標です。当院は二次医療救急医療機関に指定されており、多くの重症救急搬送患者を受け入れられるようにスタッフや設備等の体制を整え大田医療圏における役割を果たせるように努めております。

救急外来重症度別患者数



【定義・計算式】

救急外来へ受診された患者の重症度別の指標。

【この指標のコメント】

上記と同様、救急医療体制についての指標です。当院は二次医療救急医療機関に指定されており、多くの重症救急搬送患者を受け入れられるようにスタッフや設備等の体制を整え大田医療圏における役割を果たせるように努めております。